

# 事務事業一覧表

施策コード	事業名称	部局名	所属名	シート区分	ページ
21123	番町公民館耐震改築事業	教育委員会事務局	学習施設課	シートB	2
41131	小学校施設維持管理事業	教育委員会事務局	学習施設課	シートA	4
41131	小学校緑化推進事業	教育委員会事務局	学習施設課	シートB	5
41131	小学校施設マネジメント事業	教育委員会事務局	学習施設課	シートB	7
41131	中学校施設維持管理事業	教育委員会事務局	学習施設課	シートA	9
41131	中学校緑化推進事業	教育委員会事務局	学習施設課	シートB	10
41131	寄宿舎施設維持管理事業	教育委員会事務局	学習施設課	シートA	12
41131	中学校施設マネジメント事業	教育委員会事務局	学習施設課	シートB	13
41131	幼稚園施設維持管理事業	教育委員会事務局	学習施設課	シートA	15
41131	幼稚園施設マネジメント事業	教育委員会事務局	学習施設課	シートB	16
41133	小学校教材等整備事業	教育委員会事務局	学習施設課	シートA	18
41133	小学校愛ある動物ふれあい推進事業	教育委員会事務局	学習施設課	シートA	19
41133	中学校教材等整備事業	教育委員会事務局	学習施設課	シートA	20
41133	幼稚園愛ある動物ふれあい推進事業	教育委員会事務局	学習施設課	シートA	21
42121	公民館・分館施設維持管理事業	教育委員会事務局	学習施設課	シートA	22
42121	公民館施設整備事業	教育委員会事務局	学習施設課	シートA	23
42121	分館施設整備事業	教育委員会事務局	学習施設課	シートA	24
42121	公民館施設マネジメント事業	教育委員会事務局	学習施設課	シートB	25
49999	教員住宅施設維持管理事業	教育委員会事務局	学習施設課	シートA	27

令和4年度	部局等名	教育委員会事務局	課等名	学習施設課	担当グループ名	施設担当	連絡先	948-6873				
	部等長名	鷲谷 浩三	課等長名	重見 大作	リダー名	主幹	担当者名	主任	瀬戸丸 崇	主事	松本 瑞稀	
令和3年度	部局等名	教育委員会事務局	課等名	学習施設課	担当グループ名	施設担当	連絡先	948-6873				
	部等長名	井出 修敏	課等長名	高橋 邦光	リダー名	主幹	担当者名	主任	瀬戸丸 崇	主任	水口 能孝	

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	21123	番町公民館耐震改築事業				事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】				笑顔プログラム	313	個別プログラム	笑顔を守るプログラム	
政策	災害等に強いまちをつくる						重点プロジェクト	みんなで守り助け合う「安心して暮らせるまちづくり」プロジェクト	
施策	防災対策等の推進						主な取り組み	耐震化対策の推進	
主な取り組み	市有施設の耐震化				市長公約				
取り組みの柱	保育所や消防団のポンプ蔵置所などについて、順次耐震化を進めます。								
総合戦略	基本目標	-				取組み	-		
	政策	-							
	施策	-							
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	1:有り	重点的取組事業該当有無(R3)	1:有り						
根拠法令,条例,個別計画等	公民館耐震化推進計画								
事業の目的(どのような状態にするか)	公民館は地域の学習拠点や住民に身近なコミュニティ施設として重要な施設であることはもとより、災害時の避難所として指定されているため、耐震診断の結果、必要な耐震性能を満たしていない番町公民館を改築し、耐震性能を確保する。								
背景(どのような経緯で開始したか)	公民館及び地元関係者で組織された番町公民館建設委員会と継続的に協議を行い、令和1年より建替えに向けて具体的な設計を進めた。								
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	番町地区住民等の避難所として、また、地域の学習拠点や身近なコミュニティ施設としても重要な公民館を耐震化することで、災害に強いまちづくりに寄与する。 (株)大建設工務へ改築工事実施設計業務に係る委託料を支出 山本建設(株)ほかへ工事請負費を支出								
受益者負担の状況	負担の有無	2:無し		「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由	市有施設の耐震化を目的とするもので市が負担すべき事業であるため				
始期・終期(年度)	令和	2	～	令和	4	終期の種別	1:事業の終了時期		

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	教育費	項	社会教育費	目	社会教育施設費	R3 予算措置時期	当初	繰越
現計予算額(A)(単位:千円)						26,204		305,213			283,120
決算額(B)(単位:千円)						10,036		133,050			
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳			国支出金			0		0			0
			県支出金			0		0			0
			市債			4,200		130,600			273,300
			その他			0		0			0
			一般財源			5,836		2,450			9,820
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算								工事請負費123,072千円、委託料9,950千円、印刷製本費28千円			工事請負費273,420千円、備品購入費5,000千円、委託料2,600千円
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等								決算額のうち9,550千円は前年度繰越分			予算額のうち158,947千円は前年度繰越分
予算執行残額(単位:千円)			(A)-(B)			16,168		172,163			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	番町公民館耐震改築工事のため、実施設計業務委託 番町公民館耐震改築工事のため、既設施設の解体 番町公民館耐震改築工事										
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下		左記の理由として良かった点,悪かった点など			予定どおり事業を実施できた。				
施策への貢献度(目的達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		番町地区住民等の避難所として、また、地域の学習拠点や身近なコミュニティ施設としても重要な公民館を耐震化することで、災害に強いまちづくりに寄与する。						
事業の公共性	必要性	3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない			
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	なし					環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		特になし			
R4年度の目標	番町公民館の耐震化により公民館の耐震化率100%を目指す。					R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		番町公民館の改築工事の施工、完了			

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)

【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	工事進捗率	%	目標値	0	0	50	100	—	目標値	100	
			実績値	0	0	50		達成年度	R4年度		
		%	達成度	—	—	100					
	指標の種類	3.累計での増加を目指す指標				最終目標値の設定の考え方	番町公民館耐震改築工事の完了を目標とする。				
	本指標の設定理由	本事業の進捗を示す指標であるため									
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
		%	達成度								
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
%		達成度									
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	公民館耐震化率	%	目標値	98	98	98	100	—	目標値	100	
			実績値	98	98	98		達成年度	R4年度		
		%	達成度	100	100	100					
	指標の種類	3.累計での増加を目指す指標				最終目標値の設定の考え方	公民館の耐震化100%を目標とする。				
	本指標の設定理由	公民館の耐震化状況を示す指標であるため									
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
		%	達成度								
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
%		達成度									
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	R4年度の工事完了に向けて予定どおり事業を進めることができた。									
	成果指標	R4年度の工事完了に向けて予定どおり事業を進めることができた。									
上記の指標以外に指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和4年度	部局等名	教育委員会事務局	課等名	学習施設課	担当グループ名	施設担当	連絡先	948-6873			
	部等長名	鷲谷 浩三	課等長名	重見 大作	リーダー名	主幹	担当者名	主査	岡田 修一	主事	袋田 麻貴
令和3年度	部局等名	教育委員会事務局	課等名	学習施設課	担当グループ名	施設担当	連絡先	948-6873			
	部等長名	井出 修敏	課等長名	高橋 邦光	リーダー名	主幹	担当者名	主査	岡田 修一	主事	曾我部 剛

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	41131	小学校施設維持管理事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	子どもたちの生きる力を育む			重点プロジェクト	-	
施策	知・徳・体の調和のとれた教育の推進			主な取り組み	-	
主な取り組み	教育環境の整備		市長公約	-		
取り組みの柱	学校にエアコンを設置するほか、施設・設備の適切な維持管理を行うとともに、公共施設マネジメントに基づき長寿命化計画を策定し、安全を確保するなど、良好な学校環境を計画的に整備します。			-		
総合戦略	基本目標	-		取組み	-	
	政策	-			-	
	施策	-			-	
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等	松山市学校施設等長寿命化計画					
事業の目的(どのような状態にするか)	小学校施設の安全性の確保、良好な生活環境の維持を図るため、適宜、施設・設備等の保全に取り組む。					
背景(どのような経緯で開始したか)	小学校施設の安全性の確保、良好な生活環境の維持を図るため。					
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	市立小学校の53校を対象とする。 小学校の施設・設備等の維持管理(保守・修繕等)を行う。					
受益者負担の状況	負担の有無	2:無し	「有り」の場合,基準や金額等「無し」の場合,その理由	公費で管理すべき市有施設であるため。		
始期・終期(年度)	~ 令和 4		終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期		

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	教育費		目	小学校管理費	R3予算措置時期	当初
				項	小学校費				
				R2年度	R3年度	R4年度			
現計予算額(A)(単位:千円)					805,547		762,324		792,400
決算額(B)(単位:千円)					778,480		772,581		
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金			0			25,300		14,000
	県支出金			0			0		0
	市債			79,800			0		0
	その他			25,081			21,644		26,840
	一般財源			673,599			725,637		751,560
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算						光熱水費308,412千円、工事請負費199,999千円、委託料173,701千円		光熱水費294,000千円、委託料201,892千円、工事請負費200,000千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等						流用による増あり 小学校防犯カメラ設置事業と統合			
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)	27,067		-10,257		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	小学校の施設・設備等の維持管理(保守・修繕等)を行う。また、防犯カメラの適切な管理・運用に努める。					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	施設・設備等の保全を図ることができた。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	本事業の実施により児童のより一層の安全確保ができるため。			
事業の公共性	必要性	3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし		環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		特になし	
R4年度の目標	小学校施設の安全性を確保し、良好な生活環境を維持する。		R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		小学校の施設・設備等の適切な維持管理(保守・修繕等)を行う。また、防犯カメラの適切な管理・運用に努める。	

令和4年度	部局等名	教育委員会事務局	課等名	学習施設課	担当グループ名	施設担当	連絡先	948-6873		
	部等長名	鷲谷 浩三	課等長名	重見 大作	リーダー名	主幹	担当者名	主事	袋田 麻貴	
令和3年度	部局等名	教育委員会事務局	課等名	学習施設課	担当グループ名	施設担当	連絡先	948-6873		
	部等長名	井出 修敏	課等長名	高橋 邦光	リーダー名	主幹	担当者名	主事	曾我部 剛	

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	41131	小学校緑化推進事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	2:委託	
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】		笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	子どもたちの生きる力を育む			重点プロジェクト	-		
施策	知・徳・体の調和のとれた教育の推進			主な取り組み	-		
主な取り組み	教育環境の整備		市長公約	-			
取り組みの柱	学校にエアコンを設置するほか、施設・設備の適切な維持管理を行うとともに、公共施設マネジメントに基づき長寿命化計画を策定し、安全を確保するなど、良好な学校環境を計画的に整備します。			-			
総合戦略	基本目標	-		取組み	-		
	政策	-			-		
	施策	-			-		
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し				
根拠法令,条例,個別計画等							
事業の目的(どのような状態にするか)	環境負荷の低減や自然との共生に対応した環境教育の実現に努めるとともに、児童・PTA・地域で共同して校庭に芝生を植え育て、より良い教育環境をつくり、併せて地域との交流を図る。						
背景(どのような経緯で開始したか)	校庭の芝生化は、より良い教育環境の確保等のために、平成24年度から実施している。なお、壁面緑化は、より良い教育環境の整備、環境負荷低減、自然との共生に対応した環境教育の実現のため、平成21年度から平成27年度まで実施した。						
対象・事業内容(誰に対して、何をするか)	対象施設:芝生化の要望があった小学校 事業内容:地域などの協力により維持管理が可能な学校の要望に設置場所を決め、子ども達の協力のもと苗植えをしている。 成瀬緑化産業(株)へ維持管理に係る委託料を支出						
受益者負担の状況	負担の有無	2:無し	「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由	公費で管理すべき市有施設の一部であるため。			
始期・終期(年度)	平成	21	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	教育費		小学校費		R3 予算措置時期	当初
				項	目	目	目		
				R2年度		R3年度		R4年度	
現計予算額(A)(単位:千円)				2,759		3,005		3,006	
決算額(B)(単位:千円)				2,855		2,909		3,006	
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金			0		0		0	
	県支出金			0		0		0	
	市債			0		0		0	
	その他			0		0		0	
	一般財源			2,855		2,909		3,006	
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算				委託料2,885千円、消耗品費18千円、燃料費6千円		委託料2,886千円、消耗品費110千円、燃料費10千円			
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等									
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		-96		96	

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	4小学校(和気小・潮見小・久米小・河野小)の芝生の維持管理。					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	目標どおり事業実施できた。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由		芝生化を実施したことにより、環境教育が実施できたほか、地域住民との交流を通じてコミュニケーション能力向上の機会を設けることができたため。		
事業の公共性	必要性	3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし		環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		特になし	
R4年度の目標	より良い教育環境をつくり地域との交流を図る。		R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		既存の芝生の維持管理を行う。	

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)  
 【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)		%	目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
			達成度								
	指標の種類				最終目標値の設定の考え方						
	本指標の設定理由										
		%	目標値							目標値	
			実績値						達成年度		
			達成度								
	指標の種類				最終目標値の設定の考え方						
	本指標の設定理由										
		%	目標値							目標値	
			実績値						達成年度		
達成度											
指標の種類				最終目標値の設定の考え方							
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	芝生化校数(累計)	校	目標値	4	4	4	4	4	目標値	-	
			実績値	4	4	4	4	4	達成年度	R4年度	
			達成度	100	100	100	100	100			
	指標の種類	3:累計での増加を目指す指標			最終目標値の設定の考え方		学校のみならず、地域の協力や学校開放でスポーツ利用している方々の理解も必要であるため、条件が整った学校を対象としている。そのため、最終目標は設定していない。				
	本指標の設定理由	本事業の進捗を示す指標であるため。									
		%	目標値							目標値	
			実績値						達成年度		
			達成度								
	指標の種類				最終目標値の設定の考え方						
	本指標の設定理由										
		%	目標値							目標値	
			実績値						達成年度		
達成度											
指標の種類				最終目標値の設定の考え方							
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標										
	成果指標	今後も学校要望に対し適切に対応していく。									
上記の指標以外に指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和4年度	部局等名	教育委員会事務局	課等名	学習施設課	担当グループ名	施設担当	連絡先	948-6873			
	部等長名	鷲谷 浩三	課等長名	重見 大作	リーダー名	主幹	担当者名	主査	岡田 修一	主事	袋田 麻貴
令和3年度	部局等名	教育委員会事務局	課等名	学習施設課	担当グループ名	施設担当	連絡先	948-6873			
	部等長名	井出 修敏	課等長名	高橋 邦光	リーダー名	主幹	担当者名	主査	岡田 修一	主事	曾我部 剛

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	41131	小学校施設マネジメント事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	子どもたちの生きる力を育む			重点プロジェクト	-	
施策	知・徳・体の調和のとれた教育の推進			主な取り組み	-	
主な取り組み	教育環境の整備		市長公約	-		
取り組みの柱	学校にエアコンを設置するほか、施設・設備の適切な維持管理を行うとともに、公共施設マネジメントに基づき長寿命化計画を策定し、安全を確保するなど、良好な学校環境を計画的に整備します。			-		
総合戦略	4311	基本目標 ④住み続けたいまちをつくる(持続可能なまちづくり)	取組み	①公共施設等総合管理計画等に基づき、道路施設や市営住宅、漁港・港湾施設、上下水道、学校施設等の施設類型ごとに財源の見直しを踏まえた改修・更新等の具体的な対応方針を定める個別施設計画を策定し、マネジメントの強化に努めます。また、策定した個別施設計画を踏まえて総合管理計画を改訂し、内容を充実させます。		
		政策 ③人口減少等を踏まえた既存ストックのマネジメント強化				
		施策 ①官と民の既存ストックのマネジメント強化				
総合計画の実施計画掲載有無(R3)		1:有り	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し		
根拠法令,条例,個別計画等	松山市学校施設等長寿命化計画					

事業の目的(どのような状態にするか)	予防保全的な改修を行うことで、建物を良い状態で保ち、70~80年使用することで、中長期的な維持管理等に係るトータルコストの縮減を図る。						
背景(どのような経緯で開始したか)	本市施設の殆どが長期経年により老朽化が進み、今後は一斉に大規模な改修や建替などの更新期を迎える。財政状況の厳しい中、施設の長寿命化等によりトータルコストの縮減と平準化を図るため、中長期的な整備計画を策定し、安心・安全な施設整備を行っていく必要性が出てきた。						
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	対象施設:松山市立の小学校 事業内容:令和元年度に策定した長寿命化計画に基づき、施設の老朽化状況に応じて、施設整備を行う。また、次年度以降の改修工事等の設計の委託を行う。 (株)日企設計ほかへ工事設計業務に係る委託料を支出 (株)有光組ほかへ工事請負費を支出						
受益者負担の状況	負担の有無	2:無し	「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由	教育環境の向上を目的とするもので市が負担すべき事業であるため。			
始期・終期(年度)	令和	2	~	令和	5	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	教育費	項	小学校	目	小学校建設費	R3 予算措置時期		
									当初	3月補正	繰越
				R2年度		R3年度		R4年度			
現計予算額(A)(単位:千円)				1,103,562		2,649,202		2,265,945			
決算額(B)(単位:千円)				159,669		1,079,996		445,607			
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金			0		214,863		445,607			
	県支出金			0		0		0			
	市債			123,700		733,100		1,316,500			
	その他			0		0		227,100			
	一般財源			35,969		132,033		276,738			
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算				工事請負費991,322千円、委託料88,064千円、補償補填及び賠償金248千円		工事請負費2,036,450千円、委託料185,767千円、備品購入費36,050千円					
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等				決算額のうち811,664千円は前年度繰越分 12月補正で16,000千円、3月補正で1,307,056千円追加 流用による減あり		予算額のうち1,340,000千円は前年度繰越分					
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		943,893		1,569,206			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	長寿命化計画に基づき、対象年度の校舎等の大規模改修工事等を行った。 トイレ改修工事 道後小学校ほか2校 照明改修工事 湯葉小学校ほか1校 等					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	計画的な予防保全改修により、安全安心な施設の整備充実を図ることができた。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由		計画どおりの事業が実施できたため		
事業の公共性	必要性	3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし		環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策	特になし		
R4年度の目標	計画的な予防保全改修により、安全安心な学校施設の整備・充実を図る。		R4年度の主な取り組み内容(予定含む)	大規模改修工事 素鷲小学校ほか6校 トイレ改修工事 みどり小学校ほか2校 照明改修工事 八坂小学校ほか2校 屋内運動場大規模改修工事 久次小学校ほか1校 長寿命化改修工事(I期工事) 伊台小学校ほか3校 等		

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)

【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	改修等工事実施棟数	棟	目標値	—	4	6	16	22	目標値	207	
			実績値	—	4	2			達成年度	R52年度	
			% 達成度	—	100	100					
	指標の種類	3.累計での増加を目指す指標					最終目標値の設定の考え方	計画期間内で207棟の改修等工事を実施することとしているため。			
	本指標の設定理由	本事業の進捗を示す指標であるため。複数年工期の工事は工事最終年度に実施棟数として計上する。									
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
				% 達成度							
	指標の種類						最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由										
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
% 達成度											
指標の種類						最終目標値の設定の考え方					
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
			% 達成度								
	指標の種類						最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由										
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
				% 達成度							
	指標の種類						最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由										
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
% 達成度											
指標の種類						最終目標値の設定の考え方					
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	計画通り設計及び業者選定等を行うことができたため、達成できた。									
	成果指標										
上記の指標以外に指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											



令和4年度	部局等名	教育委員会事務局	課等名	学習施設課	担当グループ名	施設担当	連絡先	948-6873			
	部等長名	鷲谷 浩三	課等長名	重見 大作	リダー名	主幹	担当者名	主査	岡田 修一	主事	袋田 麻貴
令和3年度	部局等名	教育委員会事務局	課等名	学習施設課	担当グループ名	施設担当	連絡先	948-6873			
	部等長名	井出 修敏	課等長名	高橋 邦光	リダー名	主幹	担当者名	主査	岡田 修一	主事	曾我部 剛

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	41131	中学校施設維持管理事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	子どもたちの生きる力を育む			重点プロジェクト	-	
施策	知・徳・体の調和のとれた教育の推進			主な取り組み	-	
主な取り組み	教育環境の整備		市長公約	-		
取り組みの柱	学校にエアコンを設置するほか、施設・設備の適切な維持管理を行うとともに、公共施設マネジメントに基づき長寿命化計画を策定し、安全を確保するなど、良好な学校環境を計画的に整備します。			-		
総合戦略	基本目標	-		取組み	-	
	政策	-			-	
	施策	-			-	
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等	松山市学校施設等長寿命化計画					
事業の目的(どのような状態にするか)	中学校施設の安全性の確保、良好な生活環境の維持を図るため、適宜、施設・設備等の保全に取り組む。					
背景(どのような経緯で開始したか)	中学校施設の安全性の確保、良好な生活環境の維持を図るため。					
対象・事業内容(誰に対して、何をするか)	中学校29校が対象。 中学校の施設・設備等の維持管理(保守・修繕等)を行う。					
受益者負担の状況	負担の有無	2:無し	「有り」の場合,基準や金額等「無し」の場合,その理由	公費で管理すべき市有施設であるため。		
始期・終期(年度)	~ 令和 4		終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期		

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	教育費	項	中学校費	目	中学校管理費	R3予算措置時期		当初
									R2年度	R3年度	
現計予算額(A)(単位:千円)						380,910		399,547			413,383
決算額(B)(単位:千円)						371,759		397,135			
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳			国支出金			0		9,350			6,000
			県支出金			0		0			0
			市債			7,300		0			0
			その他			9,378		6,814			10,650
			一般財源			355,081		380,971			396,733
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算							光熱水費160,125千円、工事請負費97,494千円、委託料90,850千円			光熱水費156,000千円、委託料108,752千円、工事請負費100,000千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等							中学校防犯カメラ設置事業と統合				
予算執行残額(単位:千円)			(A)-(B)			9,151		2,412			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	中学校の施設・設備等の維持管理(保守・修繕等)を行う。また、防犯カメラの適切な管理・運用に努める。					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	施設・設備等の保全を図ることができた。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	本事業の実施により生徒のより一層の安全確保ができるため。			
事業の公共性	必要性	3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし			環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策	特になし	
R4年度の目標	中学校施設の安全性を確保し、良好な生活環境を維持する。			R4年度の主な取り組み内容(予定含む)	中学校の施設・設備等の適切な維持管理(保守・修繕等)を行う。また、防犯カメラの適切な管理・運用に努める。	

令和4年度	部局等名	教育委員会事務局	課等名	学習施設課	担当グループ名	施設担当	連絡先	948-6873		
	部等長名	鷲谷 浩三	課等長名	重見 大作	リーダー名	主幹	担当者名	主事	袋田 麻貴	
令和3年度	部局等名	教育委員会事務局	課等名	学習施設課	担当グループ名	施設担当	連絡先	948-6873		
	部等長名	井出 修敏	課等長名	高橋 邦光	リーダー名	主幹	担当者名	主事	曾我部 剛	

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	41131	中学校緑化推進事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	2:委託	
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】		笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	子どもたちの生きる力を育む			重点プロジェクト	-		
施策	知・徳・体の調和のとれた教育の推進			主な取り組み	-		
主な取り組み	教育環境の整備		市長公約	-			
取り組みの柱	学校にエアコンを設置するほか、施設・設備の適切な維持管理を行うとともに、公共施設マネジメントに基づき長寿命化計画を策定し、安全を確保するなど、良好な学校環境を計画的に整備します。			-			
総合戦略	基本目標	-		取組み	-		
	政策	-			-		
	施策	-			-		
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し				
根拠法令,条例,個別計画等							
事業の目的(どのような状態にするか)	生徒・PTA・地域で共同して校庭に芝生を植え育て、よりよい教育環境をつくり、併せて地域との交流を図る。						
背景(どのような経緯で開始したか)	よりよい教育環境の確保等のために、平成25年度から芝生化事業を実施している。						
対象・事業内容(誰に対して、何をするか)	対象施設:芝生化の要望があった小学校 事業内容:地域などの協力により維持管理が可能な学校の要望に設置場所を決め、子ども達の協力のもと苗植えをしている。 成瀬緑化産業(株)へ維持管理に係る委託料を支出						
受益者負担の状況	負担の有無	2:無し	「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由	公費で管理すべき市有施設の一部であるため。			
始期・終期(年度)	平成	25	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	教育費		項	中学校費		目	中学校管理費		R3 予算措置時期	当初
				R2年度	R3年度		R3年度	R4年度					
現計予算額(A)(単位:千円)							402				437		437
決算額(B)(単位:千円)							414				415		
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳			国支出金				0				0		0
			県支出金				0				0		0
			市債				0				0		0
			その他				0				0		0
			一般財源				414				415		437
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算									委託料415千円		委託料415千円、消耗品費20千円、燃料費2千円		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等													
予算執行残額(単位:千円)			(A)-(B)				-12				22		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	葎新中の芝生の維持管理。					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	目標どおり事業実施できた。		
施策への貢献度(目的達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	壁面緑化や芝生化を実施したことにより、環境教育が実施できたほか、地域住民との交流を通じてコミュニケーション能力向上の機会を設けることができたため。			
事業の公共性	必要性	3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし		環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		特になし	
R4年度の目標	より良い教育環境をつくり地域との交流を図る。		R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		既存の芝生の維持管理を行う。	

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)  
 【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)		%	目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
			達成度								
	指標の種類				最終目標値の設定の考え方						
	本指標の設定理由										
		%	目標値							目標値	
			実績値						達成年度		
			達成度								
	指標の種類				最終目標値の設定の考え方						
	本指標の設定理由										
		%	目標値							目標値	
			実績値						達成年度		
達成度											
指標の種類				最終目標値の設定の考え方							
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	芝生化校数(累計)	校	目標値	1	1	1	1	1	目標値	-	
			実績値	1	1	1	1	1	達成年度	R4年度	
			達成度	100	100	100	100	100			
	指標の種類	3:累計での増加を目指す指標			最終目標値の設定の考え方		学校のみならず、地域の協力や学校開放でスポーツ利用している方々の理解も必要であるため、条件が整った学校を対象としている。そのため、最終目標は設定していない。				
	本指標の設定理由	本事業の進捗を示す指標であるため。									
		%	目標値							目標値	
			実績値						達成年度		
			達成度								
	指標の種類				最終目標値の設定の考え方						
	本指標の設定理由										
		%	目標値							目標値	
			実績値						達成年度		
達成度											
指標の種類				最終目標値の設定の考え方							
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標										
	成果指標	今後も学校要望に対し適切に対応していく。									
上記の指標以外に指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和4年度	部局等名	教育委員会事務局	課等名	学習施設課	担当グループ名	施設担当	連絡先	948-6873			
	部等長名	鷲谷 浩三	課等長名	重見 大作	リーダー名	主幹	担当者名	主査	岡田 修一	主事	袋田 麻貴
令和3年度	部局等名	教育委員会事務局	課等名	学習施設課	担当グループ名	施設担当	連絡先	948-6873			
	部等長名	井出 修敏	課等長名	高橋 邦光	リーダー名	主幹	担当者名	主査	岡田 修一	主事	曾我部 剛

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	41131	寄宿舎施設維持管理事業				事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営	
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】				笑顔プログラム	個別プログラム	-			
政策	子どもたちの生きる力を育む					重点プロジェクト	-			
施策	知・徳・体の調和のとれた教育の推進					主な取り組み	-			
主な取り組み	教育環境の整備				市長公約	-				
取り組みの柱	学校にエアコンを設置するほか、施設・設備の適切な維持管理を行うとともに、公共施設マネジメントに基づき長寿命化計画を策定し、安全を確保するなど、良好な学校環境を計画的に整備します。					-				
総合戦略	基本目標	-				取組み	-			
	政策	-					-			
	施策	-					-			
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し		重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し						
根拠法令,条例,個別計画等										
事業の目的(どのような状態にするか)	中島中学校に通う中島本島以外の生徒の生活の場である寄宿舎の安全性の確保、良好な教育・生活環境の維持を図るため、適宜、施設・設備等の保全に取り組む。									
背景(どのような経緯で開始したか)	中島中学校寄宿舎の維持を図るため。									
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	中島中学校寄宿舎(青潮寮)が対象。寄宿舎の施設・設備等の維持管理(保守・修繕等)を行う。									
受益者負担の状況	負担の有無	2:無し		「有り」の場合,基準や金額等「無し」の場合,その理由	公費で管理すべき市有施設であるため。					
始期・終期(年度)	~ 令和		4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期					

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	教育費		項	中学校費		目	中学校教育振興費	R3予算措置時期	当初
				R2年度	R3年度		R3年度	R4年度				
現計予算額(A)(単位:千円)				1,634			1,453			1,466		
決算額(B)(単位:千円)				979			1,260					
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金			17			85			100		
	県支出金			0			0			0		
	市債			0			0			0		
	その他			0			0			0		
	一般財源			962			1,175			1,366		
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算						工事請負費591千円、委託料315千円、備品購入費197千円				工事請負費500千円、委託料407千円、備品購入費200千円		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等												
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		655			193			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	寄宿舎の施設・設備等の維持管理(保守・修繕等)を行う。											
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下		左記の理由として良かった点,悪かった点など			施設・設備等の保全を図ることができた。					
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		本事業の実施により、生徒のより一層の安全確保ができるため。							
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない				公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない			
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし				環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策			特になし				
R4年度の目標	寄宿舎の安全性を確保し、良好な教育・生活環境を維持する。				R4年度の主な取り組み内容(予定含む)			寄宿舎の施設・設備等の適切な維持管理(保守・修繕等)を行う。				

令和4年度	部局等名	教育委員会事務局	課等名	学習施設課	担当グループ名	施設担当	連絡先	948-6873			
	部等長名	鷲谷 浩三	課等長名	重見 大作	リーダー名	主幹	担当者名	主査	岡田 修一	主事	袋田 麻貴
令和3年度	部局等名	教育委員会事務局	課等名	学習施設課	担当グループ名	施設担当	連絡先	948-6873			
	部等長名	井出 修敏	課等長名	高橋 邦光	リーダー名	主幹	担当者名	主査	岡田 修一	主事	曾我部 剛

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	41131	中学校施設マネジメント事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	子どもたちの生きる力を育む			重点プロジェクト	-	
施策	知・徳・体の調和のとれた教育の推進			主な取り組み	-	
主な取り組み	教育環境の整備		市長公約	-		
取り組みの柱	学校にエアコンを設置するほか、施設・設備の適切な維持管理を行うとともに、公共施設マネジメントに基づき長寿命化計画を策定し、安全を確保するなど、良好な学校環境を計画的に整備します。			-		
総合戦略	4311	基本目標 ④住み続けたいまちをつくる(持続可能なまちづくり) 政策 ③人口減少等を踏まえた既存ストックのマネジメント強化 施策 ①官と民の既存ストックのマネジメント強化	取組み	① 公共施設等総合管理計画等に基づき、道路施設や市営住宅、漁港・港湾施設、上下水道、学校施設等の施設類型ごとに財源の見直しを踏まえた改修・更新等の具体的な対応方針を定める個別施設計画を策定し、マネジメントの強化に努めます。また、策定した個別施設計画を踏まえて総合管理計画を改訂し、内容を充実させます。		
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	1:有り		重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し		

根拠法令,条例,個別計画等	松山市学校施設等長寿命化計画						
事業の目的(どのような状態にするか)	予防保全的な改修を行うことで、建物を良い状態で保ち、70~80年使用することで、中長期的な維持管理等に係るトータルコストの縮減を図る。						
背景(どのような経緯で開始したか)	本市施設の殆どが長期経年により老朽化が進み、今後は一斉に大規模な改修や建替などの更新期を迎える。財政状況の厳しい中、施設の長寿命化等によりトータルコストの縮減と平準化を図るため、中長期的な整備計画を策定し、安心・安全な施設整備を行っていく必要性が出てきた。						
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	対象施設:松山市立の中学校 事業内容:令和元年度に策定した長寿命化計画に基づき、施設の老朽化状況に応じて、施設整備を行う。また、次年度以降の改修工事等の設計の委託を行う。 (株)有光組ほかへ工事請負費を支出 (株)根津設計ほかへ委託料を支出						
受益者負担の状況	負担の有無	2:無し	「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由	教育環境の向上を目的とするもので市が負担すべき事業であるため。			
始期・終期(年度)	令和	2	~	令和	5	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	教育費		中学校費		目	中学校建設費	R3 予算措置時期	当初	3月補正	繰越
				項	目	R2年度	R3年度						
現計予算額(A)(単位:千円)						379,313			845,668				380,500
決算額(B)(単位:千円)						44,885			363,301				
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳			国支出金			0			109,310				75,415
			県支出金			0			0				
			市債			40,300			192,800				284,100
			その他			0			0				0
			一般財源			4,585			61,191				
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算									工事請負費351,678千円、委託料8,450千円、備品購入費3,173千円				工事請負費351,500千円、委託料21,000千円、備品購入費8,000千円
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等									決算額のうち307,580千円は前年度繰越分 3月補正で364,849千円追加				予算額のうち370,000千円は前年度繰越分
予算執行残額(単位:千円)			(A)-(B)			334,428			482,367				

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	長寿命化計画に基づき、対象年度の校舎等の大規模改修工事等を行った。 屋内運動場等大規模改修工事 鴨川中学校ほか1校 トイレ改修工事 勝山中学校ほか1校 等											
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	計画的な予防保全改修により、安全安心な施設の整備充実を図ることができた。								
施策への貢献度(目的達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由	計画どおりの事業が実施できたため								
事業の公共性	必要性	3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない						
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし			環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策	特になし							
R4年度の目標	計画的な予防保全改修により、安全安心な学校施設の整備・充実を図る。			R4年度の主な取り組み内容(予定含む)	対象の校舎の長寿命化改修工事やブロック塀改修工事等を行う。 長寿命化改修工事(I期工事) 南第二中学校大規模改修工事 等							

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)

【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	改修等工事実施棟数	棟	目標値	—	2	5	5	6	目標値	136	
			実績値	—	2	3			達成年度	R52年度	
			% 達成度	—	100	100					
	指標の種類	3.累計での増加を目指す指標					最終目標値の設定の考え方	計画期間内で136棟の改修等工事を実施することとしているため。			
	本指標の設定理由	本事業の進捗を示す指標であるため。複数年工期の工事は工事最終年度に実施棟数として計上する。									
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
				% 達成度							
	指標の種類						最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由										
			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
			% 達成度								
指標の種類						最終目標値の設定の考え方					
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
			% 達成度								
	指標の種類						最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由										
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
				% 達成度							
	指標の種類						最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由										
			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
			% 達成度								
指標の種類						最終目標値の設定の考え方					
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	計画通り設計及び業者選定等を行うことができたため、達成できた。									
	成果指標										
上記の指標以外に指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和4年度	部局等名	教育委員会事務局	課等名	学習施設課	担当グループ名	施設担当	連絡先	948-6873			
	部等長名	鷲谷 浩三	課等長名	重見 大作	リダー名	主幹	担当者名	主査	岡田 修一	主事	袋田 麻貴
令和3年度	部局等名	教育委員会事務局	課等名	学習施設課	担当グループ名	施設担当	連絡先	948-6873			
	部等長名	井出 修敏	課等長名	高橋 邦光	リダー名	主幹	担当者名	主査	岡田 修一	主事	曾我部 剛

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	41131	幼稚園施設維持管理事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	子どもたちの生きる力を育む			重点プロジェクト	-	
施策	知・徳・体の調和のとれた教育の推進			主な取り組み	-	
主な取り組み	教育環境の整備		市長公約	-		
取り組みの柱	学校にエアコンを設置するほか、施設・設備の適切な維持管理を行うとともに、公共施設マネジメントに基づき長寿命化計画を策定し、安全を確保するなど、良好な学校環境を計画的に整備します。			-		
総合戦略	基本目標	-		取組み	-	
	政策	-			-	
	施策	-			-	
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等	松山市学校施設等長寿命化計画					
事業の目的(どのような状態にするか)	幼稚園施設の安全性の確保、良好な生活環境の維持を図るため、適宜、施設・設備等の保全に取り組む。					
背景(どのような経緯で開始したか)	幼稚園施設の安全性の確保、良好な生活環境の維持を図るため。					
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	幼稚園5園の施設・設備等の維持管理(保守・修繕等)を行う。					
受益者負担の状況	負担の有無	2:無し	「有り」の場合,基準や金額等「無し」の場合,その理由	公費で管理すべき市有施設であるため。		
始期・終期(年度)	~ 令和 4		終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期		

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	教育費	項	幼稚園費		R3予算措置時期	当初
						目	幼稚園費		
				R2年度		R3年度		R4年度	
現計予算額(A)(単位:千円)				17,271		17,279		17,115	
決算額(B)(単位:千円)				15,847		15,711			
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金			235		230		0	
	県支出金			0		0		0	
	市債			0		0		0	
	その他			0		0		0	
	一般財源			15,612		15,481		17,115	
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算				光熱水費5,188千円、工事請負費4,122千円、委託料2,118千円		光熱水費5,100千円、工事請負費4,500千円、委託料2,367千円			
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等				幼稚園防犯カメラ設置事業と統合					
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		1,424		1,568	

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	幼稚園の施設・設備等の維持管理(保守・修繕等)を行う。また、防犯カメラの適切な管理・運用に努める。					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	施設・設備等の保全を図ることができた。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	本事業の実施により園児のより一層の安全確保ができるため。			
事業の公共性	必要性	3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし		環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		特になし	
R4年度の目標	幼稚園施設の安全性を確保し、良好な生活環境を維持する。		R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		幼稚園の施設・設備等の適切な維持管理(保守・修繕等)を行う。また、防犯カメラの適切な管理・運用に努める。	

令和4年度	部局等名	教育委員会事務局	課等名	学習施設課	担当グループ名	施設担当	連絡先	948-6873			
	部等長名	鷲谷 浩三	課等長名	重見 大作	リーダー名	主幹	担当者名	主査	岡田 修一	主事	袋田 麻貴
令和3年度	部局等名	教育委員会事務局	課等名	学習施設課	担当グループ名	施設担当	連絡先	948-6873			
	部等長名	井出 修敏	課等長名	高橋 邦光	リーダー名	主幹	担当者名	主査	岡田 修一	主事	曾我部 剛

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	41131	幼稚園施設マネジメント事業				事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)	
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】					笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	子どもたちの生きる力を育む						重点プロジェクト	-		
施策	知・徳・体の調和のとれた教育の推進						主な取り組み	-		
主な取り組み	教育環境の整備					市長公約	-			
取り組みの柱	学校にエアコンを設置するほか、施設・設備の適切な維持管理を行うとともに、公共施設マネジメントに基づき長寿命化計画を策定し、安全を確保するなど、良好な学校環境を計画的に整備します。						-			
総合戦略	4311	基本目標	④住み続けたいまちをつくる(持続可能なまちづくり)			取組み	① 公共施設等総合管理計画等に基づき、道路施設や市営住宅、漁港・港湾施設、上下水道、学校施設等の施設類型ごとに財源の見直しを踏まえた改修・更新等の具体的な対応方針を定める個別施設計画を策定し、マネジメントの強化に努めます。また、策定した個別施設計画を踏まえて総合管理計画を改訂し、内容を充実させます。			
		政策	③人口減少等を踏まえた既存ストックのマネジメント強化							
		施策	①官と民の既存ストックのマネジメント強化							
総合計画の実施計画掲載有無(R3)		2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)		2:無し					
根拠法令,条例,個別計画等		松山市学校施設等長寿命化計画								
事業の目的(どのような状態にするか)	予防保全的な改修を行うことで、建物を良い状態で保ち、70~80年使用することで、中長期的な維持管理等に係るトータルコストの縮減を図る。									
背景(どのような経緯で開始したか)	本市施設の殆どが長期経年により老朽化が進み、今後は一斉に大規模な改修や建替などの更新期を迎える。財政状況の厳しい中、施設の長寿命化等によりトータルコストの縮減と平準化を図るため、中長期的な整備計画を策定し、安心・安全な施設整備を行っていく必要性が出てきた。									
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	対象施設:松山市立の幼稚園 事業内容:令和元年度に策定した長寿命化計画に基づき、施設の老朽化状況に応じて、施設整備を行う。また、次年度以降の改修工事等の設計の委託を行う。 (有)アイ・エス・ケーほかへ工事請負費を支出									
受益者負担の状況	負担の有無	2:無し		「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由		教育環境の向上を目的とするもので市が負担すべき事業であるため。				
始期・終期(年度)	令和	2	~	令和	5	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期			

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	教育費		幼稚園費		R3 予算措置時期	繰越
				項	目	目	目		
				R2年度		R3年度		R4年度	
現計予算額(A)(単位:千円)				41,000		41,000		13,944	
決算額(B)(単位:千円)				0		36,804			
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金			0		20,600		0	
	県支出金			0		0		0	
	市債			0		0		0	
	その他			0		0		0	
	一般財源			0		16,204		13,944	
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算						工事請負費36,804千円		委託料13,944千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等						決算額のうち36,804千円は前年度繰越分			
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		41,000		4,196	

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	長寿命化計画に基づき、対象年度の園舎のトイレ改修を行った。 トイレ改修工事 石井幼稚園									
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下			左記の理由として良かった点,悪かった点など		計画的な予防保全改修により、安全安心な施設の整備充実を図ることができた。			
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		計画どおりの事業が実施できたため					
事業の公共性	必要性	3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性	3	1.より多くの市民に提供(共同型) 2.特定の個人・団体等に提供(個人型) 3.どちらにも該当しない		
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし					環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		特になし		
R4年度の目標	計画的な予防保全改修により、安全安心な幼稚園施設の整備・充実を図る。					R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		対象の園舎の工事設計を行う。 長寿命化改修工事設計 三津浜幼稚園		



【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)

【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	改修等工事実施棟数	棟	目標値	-	-	-	-	-	目標値	5	
			実績値	-	-	-	-	-	達成年度	R52年度	
			% 達成度	-	-	-	-	-			
	指標の種類	3.累計での増加を目指す指標					最終目標値の設定の考え方	計画期間内で5棟の改修等工事を実施することとしているため。			
	本指標の設定理由	本事業の進捗を示す指標であるため。									
			%	目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
				達成度							
	指標の種類						最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由										
			%	目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
達成度											
指標の種類						最終目標値の設定の考え方					
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)		%	目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
			達成度								
	指標の種類						最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由										
			%	目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
				達成度							
	指標の種類						最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由										
	上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	長寿命化計画では、令和4年度設計、令和5年度着工、令和6年度完成の予定となっている。								
		成果指標									
上記の指標以外に指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和4年度	部局等名	教育委員会事務局	課等名	学習施設課	担当グループ名	学校物品調達担当	連絡先	948-6607		
	部等長名	鷲谷 浩三	課等長名	重見 大作	リダー名	主査	担当者名	主査	高内 知子	
令和3年度	部局等名	教育委員会事務局	課等名	学習施設課	担当グループ名	学校物品調達担当	連絡先	648-6607		
	部等長名	井出 修敏	課等長名	高橋 邦光	リダー名	副主幹	担当者名	主査	影山 知佳	主任 佐野 英明

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	41133	小学校教材等整備事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	子どもたちの生きる力を育む			重点プロジェクト	-	
施策	知・徳・体の調和のとれた教育の推進			主な取り組み	-	
主な取り組み	教育環境の整備		市長公約	-		
取り組みの柱	学校教材について、新学習指導要領(教育課程を編成する際の基準)への対応や、老朽化に伴う更新のほか、学校図書館の図書標準(学校図書館の図書の整備をする際の目標)を踏まえた蔵書の充実など、適正な整備を進めます。			-		
総合戦略	基本目標	-		取組み	-	
	政策	-			-	
	施策	-			-	
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等						
事業の目的(どのような状態にするか)	学校の教育活動を効果的に実現できるための教育環境づくりを目的とする。					
背景(どのような経緯で開始したか)	学校間の均等化をはかり、児童が平等な教育を受けることのできる環境づくりを行うため。					
対象・事業内容(誰に対して、何をするか)	小学校に対して、教育の一層の向上を図るため、必要である消耗品・備品の購入を行う。					
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合,基準や金額等「無し」の場合,その理由			
始期・終期(年度)	～ 令和 4		終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期		

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	教育費	項	小学校費	目	小学校管理費	R3予算措置時期		
									当初		
				R2年度		R3年度		R4年度			
現計予算額(A)(単位:千円)						165,303		172,489	167,029		
決算額(B)(単位:千円)						159,083		168,369	166,029		
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金			861			943		1,000		
	県支出金			0			0		0		
	市債			0			0		0		
	その他			0			0		0		
	一般財源			158,222			167,426		166,029		
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算						消耗品費110,675千円、備品購入費57,694千円		消耗品費107,789千円、備品購入費59,174千円、委託料66千円			
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等						流用による減あり 小学校こども安全対策事業と統合					
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		6,220		4,120			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	教育効果を高めるための消耗品・備品を購入					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	予定通りに事業が実施できた。		
施策への貢献度(目的達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	本事業の実施により、学校の教育活動を効果的に実現できるための教育環境をつくる。			
事業の公共性	必要性	3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし		環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		特になし	
R4年度の目標	学校の教育活動を効果的に実現できるための教育環境づくりをする。また、児童の安全確保を図る。		R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		学校の教育活動を効果的に実現するため、教育環境を整える消耗品・備品を購入する。また、新入学児童及び転入学児童に防犯笛を配布する。	

令和4年度	部局等名	教育委員会事務局	課等名	学習施設課	担当グループ名	学校物品調達担当	連絡先	948-6607		
	部等長名	鷲谷 浩三	課等長名	重見 大作	リーダー名	主査	担当者名	主査	高内 知子	
令和3年度	部局等名	教育委員会事務局	課等名	学習施設課	担当グループ名	学校物品調達担当	連絡先	948-6607		
	部等長名	井出 修敏	課等長名	高橋 邦光	リーダー名	副主幹	担当者名	主査	影山 知佳	

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	41133	小学校愛ある動物ふれあい推進事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	2:委託
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	子どもたちの生きる力を育む			重点プロジェクト	-	
施策	知・徳・体の調和のとれた教育の推進			主な取り組み	-	
主な取り組み	教育環境の整備		市長公約	-		
取り組みの柱	学校教材について、新学習指導要領(教育課程を編成する際の基準)への対応や、老朽化に伴う更新のほか、学校図書館の図書標準(学校図書館の図書の整備をする際の目標)を踏まえた蔵書の充実など、適正な整備を進めます。			-		
総合戦略	基本目標	-		取組み	-	
	政策	-			-	
	施策	-			-	
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し			

根拠法令,条例,個別計画等						
事業の目的(どのような状態にするか)	児童が命の大切さを学び、優しさや思いやりのある豊かな心を育てていくために、学校で日頃から児童と動物たちがふれあえる環境を整えることを目的とする。					
背景(どのような経緯で開始したか)	小学校で生き物を飼養することにより、生命尊重の心を育み、優しさ、思いやり、忍耐力等の育成に取り組むため。					
対象・事業内容(誰に対して、何をするか)	小学校で飼養している動物について、愛媛県獣医師会へ委託し、定期訪問による飼育指導及び健康診断、飼育動物の診断・治療、電話・FAX等での飼育・疾病等相談を実施。業務履行業者へ委託料を支出。					
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合、基準や金額等「無し」の場合、その理由			
始期・終期(年度)	平成 17	～	令和 4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	教育費		目	小学校管理費	R3予算措置時期	
				項	小学校費			当初	
				R2年度		R3年度		R4年度	
現計予算額(A)(単位:千円)				1,928		1,928		1,932	
決算額(B)(単位:千円)				1,880		1,880		1,932	
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金			0		0		0	
	県支出金			0		0		0	
	市債			0		0		0	
	その他			0		0		0	
	一般財源			1,880		1,880		1,932	
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算						委託料1,880千円		委託料1,932千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等									
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		48		48	

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	委託による飼育動物の治療・定期健診。動物たちとふれあうことによる、豊かな心の育成					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	予定通り実施できたため。		
施策への貢献度(目的達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	本事業の実施により、児童の豊かな心の育成につながっている。			
事業の公共性	必要性	3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特に無し		環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		特に無し	
R4年度の目標	児童と動物がふれあえる環境を整え、引き続き児童の豊かな心の成長を促進していくとともに、人と動物が調和共生する社会に向け、動物の命を大切にすることを心がけていく。			R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		委託による飼育動物の治療及び定期検診を行う。

令和4年度	部局等名	教育委員会事務局	課等名	学習施設課	担当グループ名	学校物品調達担当	連絡先	948-6607		
	部等長名	鷲谷 浩三	課等長名	重見 大作	リダー名	主査	担当者名	主査	高内 知子	
令和3年度	部局等名	教育委員会事務局	課等名	学習施設課	担当グループ名	学校物品調達担当	連絡先	948-6607		
	部等長名	井出 修敏	課等長名	高橋 邦光	リダー名	副主幹	担当者名	主査	影山 知佳	主任 佐野 英明

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	41133	中学校教材等整備事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	子どもたちの生きる力を育む			重点プロジェクト	-	
施策	知・徳・体の調和のとれた教育の推進			主な取り組み	-	
主な取り組み	教育環境の整備		市長公約	-		
取り組みの柱	学校教材について、新学習指導要領(教育課程を編成する際の基準)への対応や、老朽化に伴う更新のほか、学校図書館の図書標準(学校図書館の図書の整備をする際の目標)を踏まえた蔵書の充実など、適正な整備を進めます。			-		
総合戦略	基本目標	-				
	政策	-				
	施策	-				
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等						
事業の目的(どのような状態にするか)	学校の教育活動を効果的に実現できるための教育環境づくりを目的とする。					
背景(どのような経緯で開始したか)	学校間の均等化をはかり、生徒が平等な教育を受けることのできる環境づくりを行うため。					
対象・事業内容(誰に対して,何をするか)	中学校に対して、教育の一層の向上を図るため、必要である消耗品・備品の購入を行う。					
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合,基準や金額等「無し」の場合,その理由			
始期・終期(年度)		~ 令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	教育費	項	中学校費	目	中学校管理費	R3予算措置時期		当初
									R2年度	R3年度	
現計予算額(A)(単位:千円)						119,644		123,063			119,810
決算額(B)(単位:千円)						110,979		120,620			
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳			国支出金			596		497			550
			県支出金			0		0			0
			市債			0		0			0
			その他			0		0			0
			一般財源			110,383		120,123			119,260
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算							消耗品費74,125千円、備品購入費46,495千円			消耗品費73,069千円、備品購入費46,714千円、委託料27千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等											
予算執行残額(単位:千円)			(A)-(B)			8,665		2,443			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	教育効果を高めるための消耗品・備品を購入										
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下		左記の理由として良かった点,悪かった点など			予定通りに事業が実施できた。				
施策への貢献度(目的達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		本事業の実施により、学校の教育活動を効果的に実現できるための教育環境をつくる。						
事業の公共性	必要性	3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない				公益性	3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない		
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特に無し					環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策			特に無し		
R4年度の目標	学校の教育活動を効果的に実現できるための教育環境づくりをする。					R4年度の主な取り組み内容(予定含む)			学校の教育活動を効果的に実現するため、教育環境を整える消耗品・備品を購入する。		

令和4年度	部局等名	教育委員会事務局	課等名	学習施設課	担当グループ名	学校物品調達担当	連絡先	948-6607		
	部等長名	鷲谷 浩三	課等長名	重見 大作	リーダー名	主査	担当者名	主査	高内 知子	
令和3年度	部局等名	教育委員会事務局	課等名	学習施設課	担当グループ名	学校物品調達担当	連絡先	948-6607		
	部等長名	井出 修敏	課等長名	高橋 邦光	リーダー名	副主幹	担当者名	主査	影山 知佳	

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	41133	幼稚園愛ある動物ふれあい推進事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	2:委託
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	子どもたちの生きる力を育む			重点プロジェクト	-	
施策	知・徳・体の調和のとれた教育の推進			主な取り組み	-	
主な取り組み	教育環境の整備		市長公約	-		
取り組みの柱	学校教材について、新学習指導要領(教育課程を編成する際の基準)への対応や、老朽化に伴う更新のほか、学校図書館の図書標準(学校図書館の図書の整備をする際の目標)を踏まえた蔵書の充実など、適正な整備を進めます。			-		
総合戦略	基本目標	-		取組み	-	
	政策	-			-	
	施策	-			-	
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等						
事業の目的(どのような状態にするか)	園児が命の大切さを学び、優しさや思いやりのある豊かな心を育てていくために、幼稚園で日頃から園児と動物たちがふれあえる環境を整えることを目的とする。					
背景(どのような経緯で開始したか)	幼稚園で生き物を飼養することにより、生命尊重の心を育み、優しさ、思いやり、忍耐力等の育成に取り組むため。					
対象・事業内容(誰に対して、何をするか)	幼稚園で飼養している動物について、愛媛県獣医師会へ委託し、定期訪問による飼育指導及び健康診断、飼育動物の診断・治療、電話・FAX等での飼育・疾病等相談を実施。業務履行業者へ委託料を支出。					
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合、基準や金額等「無し」の場合、その理由			
始期・終期(年度)	平成 17	～	令和 4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	教育費	項	幼稚園費	目	幼稚園費	R3予算措置時期	当初
現計予算額(A)(単位:千円)						137		137		110
決算額(B)(単位:千円)						133		133		
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳			国支出金			0		0		0
			県支出金			0		0		0
			市債			0		0		0
			その他			0		0		0
			一般財源			133		133		110
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算							委託料133千円		委託料110千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等										
予算執行残額(単位:千円)			(A)-(B)			4		4		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	委託による飼育動物の治療、定期検診。動物たちと触れ合うことによる豊かな心の育成。					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	予定通り実施できたため。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	本事業の実施により、園児の豊かな心の育成につながっている。			
事業の公共性	必要性	3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特に無し		環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		特に無し	
R4年度の目標	園児と動物がふれあえる環境を整え、ふれあいを通じ、優しさや思いやりのある豊かな心の成長を促進していくとともに、人と動物が調和し共生する社会に向け、動物の命を大切にすることを心にとりこみ、育成に取り組んでいく。		R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		委託による飼育動物の治療及び定期検診を行う。	

令和4年度	部局等名	教育委員会事務局	課等名	学習施設課	担当グループ名	施設担当	連絡先	948-6873				
	部等長名	鷲谷 浩三	課等長名	重見 大作	リダー名	主幹	担当者名	主任	瀬戸丸 崇	主事	松本 瑞稀	
令和3年度	部局等名	教育委員会事務局	課等名	学習施設課	担当グループ名	施設担当	連絡先	948-6873				
	部等長名	井出 修敏	課等長名	高橋 邦光	リダー名	主幹	担当者名	主任	瀬戸丸 崇	主任	水口 能孝	

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	42121	公民館・分館施設維持管理事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	2:委託
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	多彩な人材を育む			重点プロジェクト	-	
施策	生涯学習の推進			主な取り組み	-	
主な取り組み	生涯学習環境の整備		市長公約	-		
取り組みの柱	生涯学習や地域住民の交流の場で、最も身近なコミュニティ施設である公民館・分館について、適切な維持・管理を行います。			-		
総合戦略	基本目標	-	取組み	-		
	政策	-		-		
	施策	-		-		
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等	社会教育法第5条第1項第3号					
事業の目的(どのような状態にするか)	社会教育施設である公民館及び分館の施設管理・点検調査を行うことにより、適正かつ安全に施設を維持するものである。					
背景(どのような経緯で開始したか)	昭和24年6月の社会教育法施行に前後して、全国的に公民館運動が活発化し、本市でも公民館が設立されるに至った。					
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	対象施設:公民館41館、分館336館(令和4年4月1日現在) 事業内容:公民館41館及び分館336館を適正かつ安全に維持するため、本館の浄化槽等の保守点検業務委託や、本館、分館の消防用設備等の保守点検業務委託を実施している。 (株)四国消防ほかへ委託料を支出					
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合,基準や金額等「無し」の場合,その理由			
始期・終期(年度)	~ 令和 4		終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期		

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	教育費		社会教育費		社会教育施設費	R3予算措置時期	当初
				項	目	目	目			
				R2年度		R3年度		R4年度		
現計予算額(A)(単位:千円)				29,218		29,536		32,005		
決算額(B)(単位:千円)				28,234		29,082				
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金			0		0		0		
	県支出金			0		0		0		
	市債			0		0		0		
	その他			0		0		0		
	一般財源			28,234		29,082		32,005		
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算						委託料24,045千円、使用料及び賃借料2,868千円、手数料2,008千円		委託料26,977千円、使用料及び賃借料2,871千円、手数料1,946千円		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等										
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		984		454		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	公民館及び分館の施設・設備等の維持管理(保守・点検等)を行う。					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	施設・設備等の保全を図ることができた。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	施設・設備等の保全を図ることができたため。			
事業の公共性	必要性	3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特に無し		環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		特に無し	
R4年度の目標	公民館及び分館の適切かつ安全な施設管理を行う。		R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		公民館及び分館の施設・設備等の維持管理(保守・点検等)を行う。	

令和4年度	部局等名	教育委員会事務局	課等名	学習施設課	担当グループ名	施設担当	連絡先	948-6873				
	部等長名	鷲谷 浩三	課等長名	重見 大作	リーダー名	主幹	担当者名	主任	瀬戸丸 崇	主事	松本 瑞稀	
令和3年度	部局等名	教育委員会事務局	課等名	学習施設課	担当グループ名	施設担当	連絡先	948-6873				
	部等長名	井出 修敏	課等長名	高橋 邦光	リーダー名	主幹	担当者名	主任	瀬戸丸 崇	主任	水口 能孝	

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	42121	公民館施設整備事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	多彩な人材を育む			重点プロジェクト	-	
施策	生涯学習の推進			主な取り組み	-	
主な取り組み	生涯学習環境の整備		市長公約	-		
取り組みの柱	生涯学習や地域住民の交流の場で、最も身近なコミュニティ施設である公民館・分館について、適切な維持・管理を行います。			-		
総合戦略	基本目標	-		取組み	-	
	政策	-			-	
	施策	-			-	
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等						
事業の目的(どのような状態にするか)	公民館の建物等の営繕工事を行い、また備品等設備の充実を図り、地区公民館としての機能を十分に発揮できるように整備する。					
背景(どのような経緯で開始したか)	昭和24年6月の社会教育法施行に前後して、全国的に公民館運動が活発化し、本市でも公民館が設立されるに至った。					
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	対象施設:公民館41館 事業内容:公民館からの申請を受け、営繕工事及び備品等設備の充実を実施している。 西協建設(株)ほかへ工事請負費を支出					
受益者負担の状況	負担の有無	2:無し	「有り」の場合、基準や金額等「無し」の場合、その理由	公民館は、各地区の公民館活動の拠点施設として、市の職員を配置して運営するいわゆる公設公営(直営)の施設であるため、市が建設や管理・運営等にかかる経費を全て負担している。		
始期・終期(年度)	~ 令和 4		終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期		

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	教育費		社会教育費		R3予算措置時期	当初
				項	目	社会教育施設費			
				R2年度	R3年度	R3年度	R4年度		
現計予算額(A)(単位:千円)					44,390		39,700		26,600
決算額(B)(単位:千円)					31,645		26,420		
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金				0		0		0
	県支出金				0		0		0
	市債				3,800		0		0
	その他				44		0		0
	一般財源				27,801		26,420		26,600
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算						工事請負費23,686千円、備品購入費2,499千円、消耗品費235千円		工事請負費23,700千円、備品購入費2,500千円、消耗品費400千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等									
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)	12,745		13,280		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	公民館の施設・備品等の整備(修繕・購入等)を行う。					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	施設・設備等の保全を図ることができた。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	本事業の実施により、地区公民館としての機能を十分に発揮できるように整備できたため。			
事業の公共性	必要性	3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特に無し			環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策	特に無し	
R4年度の目標	公民館施設の安全性を確保し、社会教育活動の充実を図る。			R4年度の主な取り組み内容(予定含む)	公民館の施設・備品等の整備(修繕・購入等)に努める。	

令和4年度	部局等名	教育委員会事務局	課等名	学習施設課	担当グループ名	施設担当	連絡先	948-6873			
	部等長名	鷲谷 浩三	課等長名	重見 大作	リーダー名	主幹	担当者名	主任	瀬戸丸 崇	主事	松本 瑞稀
令和3年度	部局等名	教育委員会事務局	課等名	学習施設課	担当グループ名	施設担当	連絡先	948-6873			
	部等長名	井出 修敏	課等長名	高橋 邦光	リーダー名	主幹	担当者名	主任	瀬戸丸 崇	主任	水口 能孝

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	42121	分館施設整備事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	多彩な人材を育む			重点プロジェクト	-	
施策	生涯学習の推進			主な取り組み	-	
主な取り組み	生涯学習環境の整備		市長公約	-		
取り組みの柱	生涯学習や地域住民の交流の場で、最も身近なコミュニティ施設である公民館・分館について、適切な維持・管理を行います。			-		
総合戦略	基本目標	-	取組み	-		
	政策	-		-		
	施策	-		-		
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等	社会教育法第5条第1項第3号					
事業の目的(どのような状態にするか)	公民館分館(集会所)の建物等の営繕工事を行い、また備品等設備の充実を図り、社会教育施設としての分館機能を十分に発揮できるように整備する。					
背景(どのような経緯で開始したか)	昭和24年6月の社会教育法施行に前後して、全国的に公民館運動が活発化し、本市でも分館が設立されるに至った。					
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	対象施設:分館336館(令和4年4月1日現在) 事業内容:分館からの申請を受け、営繕工事及び備品等設備の充実を実施している。 (株)東徳建設工業ほかへ工事請負費を支出					
受益者負担の状況		3:負担する性質でない	「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由			
始期・終期(年度)	~ 令和		4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	教育費		社会教育費		社会教育施設費	R3予算措置時期	当初
				項	目	目	目			
				R2年度		R3年度		R4年度		
現計予算額(A)(単位:千円)				54,400		45,400		45,400		
決算額(B)(単位:千円)				53,297		45,013				
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金			0		0		0		
	県支出金			0		0		0		
	市債			0		0		0		
	その他			0		0		0		
	一般財源			53,297		45,013		45,400		
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算						工事請負費41,716千円、備品購入費3,297千円		工事請負費42,000千円、備品購入費3,300千円、消耗品費100千円		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等										
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		1,103		387		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	分館(集会所)の施設・備品等の整備(修繕・購入等)を行う。					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	施設・設備等の保全を図ることができた。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	本事業の実施により、社会教育施設としての分館機能を十分に発揮できるように整備できたため。			
事業の公共性	必要性	3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	長期経年により施設の老朽化が進み一斉に更新時期を迎える。		環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策	長期経年により施設の老朽化が進み一斉に更新時期を迎えるに当たり、長寿命化等計画を策定し、改修等を行う。		
R4年度の目標	分館(集会所)施設の安全性を確保し、社会教育活動の充実を図る。		R4年度の主な取り組み内容(予定含む)	分館(集会所)の施設・備品等の整備(修繕・購入等)を行う。		



令和4年度	部局等名	教育委員会事務局	課等名	学習施設課	担当グループ名	施設担当	連絡先	948-6873			
	部等長名	鷲谷 浩三	課等長名	重見 大作	リーダー名	主幹	担当者名	主査	岡田 修一	主任	瀬戸丸 崇
令和3年度	部局等名	教育委員会事務局	課等名	学習施設課	担当グループ名	施設担当	連絡先	948-6873			
	部等長名	井出 修敏	課等長名	高橋 邦光	リーダー名	主幹	担当者名	主査	岡田 修一	主任	瀬戸丸 崇

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	42121	公民館施設マネジメント事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	多彩な人材を育む			重点プロジェクト	-	
施策	生涯学習の推進			主な取り組み	-	
主な取り組み	生涯学習環境の整備		市長公約	-		
取り組みの柱	生涯学習や地域住民の交流の場で、最も身近なコミュニティ施設である公民館・分館について、適切な維持・管理を行います。			-		
総合戦略	4311	基本目標	④住み続けたいまちをつくる(持続可能なまちづくり)		取組み	①公共施設等総合管理計画等に基づき、道路施設や市営住宅、漁港・港湾施設、上下水道、学校施設等の施設類型ごとに財源の見直しを踏まえた改修・更新等の具体的な対応方針を定める個別施設計画を策定し、マネジメントの強化に努めます。また、策定した個別施設計画を踏まえて総合管理計画を改訂し、内容を充実させます。
		政策	③人口減少等を踏まえた既存ストックのマネジメント強化			
		施策	①官と民の既存ストックのマネジメント強化			
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	1:有り		重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し		

根拠法令,条例,個別計画等	松山市学校施設等長寿命化計画						
事業の目的(どのような状態にするか)	長寿命化計画に基づき、施設の老朽化状況に応じて、適切な時期に適切な改修を行い、長寿命化を図ることで財政的に持続可能な範囲で、安心・安全な施設整備を行う。						
背景(どのような経緯で開始したか)	公民館は築30年以上の建物が6割を超え、今後一斉に更新時期を迎えつつあり、老朽化対策が重要な課題となっている。限られた財源で戦略的に施設整備を進めるため、平成29年2月に策定した「松山市公共施設等総合管理計画」及び「松山市公共施設再編成計画」の個別施設計画として「松山市学校施設等長寿命化計画」を策定						
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	対象施設:松山市内の公民館(全41館) 事業内容:令和元年度に策定した長寿命化計画に基づき、施設の老朽化状況に応じて、施設整備を行う。また、次年度以降の改修工事等の設計の委託を行う。 (有)道下建設ほかへ工事請負費を支出						
受益者負担の状況	負担の有無	2:無し	「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由	市有施設の長寿命化を目的とするもので市が負担すべき事業であるため			
始期・終期(年度)	令和	2	～	令和	5	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	教育費		目	社会教育施設費	R3 予算措置時期	繰越
				項	社計教育費				
				R2年度	R3年度	R4年度			
現計予算額(A)(単位:千円)					85,000		62,500		62,651
決算額(B)(単位:千円)					22,458		62,364		
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金				0		0		0
	県支出金				0		0		0
	市債				22,400		52,000		33,800
	その他				0		0		0
	一般財源				58		10,364		28,851
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算						工事請負費62,364千円		工事請負費46,943千円、委託料15,708千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等						決算額のうち62,364千円は前年度繰越分			
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)	62,542		136		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	味酒公民館長寿命化改修工事					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	工事に向けての地元交渉及び契約ができた。		
施策への貢献度(目的達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	味酒地区住民等の避難所として、また、地域の学習拠点や身近なコミュニティ施設としても重要な公民館を長寿命化することで、災害に強いまちづくりに寄与する。			
事業の公共性	必要性	3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	なし		環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		特になし	
R4年度の目標	長寿命化計画に基づき、施設の老朽化状況に応じて、適切な時期に適切な改修を行い、長寿命化を図ることで財政的に持続可能な範囲で、安心・安全な施設整備を行う。		R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		素鷲公民館長寿命化改修工事設計委託・工事道後公民館長寿命化改修工事設計委託	

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)  
 【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	改修等工事実施棟数	棟	目標値	—	1	2	2	4	目標値	46	
			実績値	—	0	1			達成年度	R52年度	
			% 達成度	—	—	100					
	指標の種類	3.累計での増加を目指す指標					最終目標値の設定の考え方	計画期間内で46棟の改修等工事を実施することとしているため。			
	本指標の設定理由	本事業の進捗を示す指標であるため。									
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
				% 達成度							
	指標の種類						最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由										
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
% 達成度											
指標の種類						最終目標値の設定の考え方					
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
			% 達成度								
	指標の種類						最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由										
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
				% 達成度							
	指標の種類						最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由										
	上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	予定どおり事業を進めることができた。								
		成果指標									
上記の指標以外に指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和4年度	部局等名	教育委員会事務局	課等名	学習施設課	担当グループ名	施設担当	連絡先	948-6873		
	部等長名	鷲谷 浩三	課等長名	重見 大作	リーダー名	主幹	担当者名	主事	袋田 麻貴	
令和3年度	部局等名	教育委員会事務局	課等名	学習施設課	担当グループ名	施設担当	連絡先	948-6873		
	部等長名	井出 修敏	課等長名	高橋 邦光	リーダー名	主幹	担当者名	主事	曾我部 剛	

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	49999	教員住宅施設維持管理事業				事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】				笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	その他					重点プロジェクト	-		
施策	その他					主な取り組み	-		
主な取り組み	その他				市長公約	-			
取り組みの柱	その他					-			
総合戦略	基本目標	-			取組み	-			
	政策	-				-			
	施策	-				-			
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し		重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し					
根拠法令,条例,個別計画等									
事業の目的(どのような状態にするか)	中島地区の小中学校に勤務する教員の生活の場である教員住宅の安全性の確保、良好な生活環境の維持を図るため、適宜、施設・設備等の保全に取り組む。								
背景(どのような経緯で開始したか)	市有施設である教員住宅を維持するため。								
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	教員住宅の施設・設備等の維持管理(保守・修繕等)を行う。 対象施設: 釣島、沢の口、野忽那、元怒和、船越、津和地、二神、汐入の各教員住宅								
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない		「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由					
始期・終期(年度)	~ 令和		4		終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期			

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	教育費	項	教育総務費	目	学校教育総務費	R3予算措置時期		当初
									R2年度	R3年度	
現計予算額(A)(単位:千円)									3,254	3,252	3,269
決算額(B)(単位:千円)									2,541	3,004	
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金			0		0		0			
	県支出金			0		0		0			
	市債			0		0		0			
	その他			2,928		2,640		2,928			
一般財源			-387		364		341				
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算						工事請負費2,573千円、委託料301千円、手数料108千円		工事請負費2,833千円、手数料244千円、委託料168千円			
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等											
予算執行残額(単位:千円)						(A)-(B)		713		248	

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	教員住宅の施設・設備等の維持管理(保守・修繕等)を行う。										
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下		左記の理由として良かった点,悪かった点など			施設・設備等の保全を図ることができた。				
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		施設・設備等の保全を図ることができた。						
事業の公共性	必要性	3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性	3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない			
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし					環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		特になし			
R4年度の目標	教員住宅の安全性を確保し、良好な生活環境の維持する。					R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		教員住宅の施設・設備等の適切な維持管理(保守・修繕等)を行う。			